



一般社団法人千葉県薬剤師会

千葉県薬剤師会雑誌 ちば県薬誌

8・9月 **合併号** 通号621号 平成27年8月1日発行
(毎月1回1日発行)

Vol.61
2015 No.

10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9



議事要旨

第81回 定時社員総会 平成27年度 第3回 理事会

報告

- 第85回日本薬剤師会定時総会での関東ブロック代表質問
- 夜間・休日における在宅医療の体制整備 ～モデル地区におけるパイロット・スタディ～
- 平成27年度 嚙下に問題のある患者への薬剤師の関わり

学術

- 経口FXa阻害剤エドキサバントシル酸塩水和物錠 (リクシアナ錠®15mg/30mg/60mg)
- 緑内障・高眼圧症治療剤Rhoキナーゼ阻害薬 (グラナテック®点眼液0.4%)
- 抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼインヒビターボスチニブ水和物錠 (ボシュリフ錠®100mg)

薬事情報

- フルニトラゼパム製剤における色の変更
- 季節性インフルエンザワクチンの供給
- 薬剤師以外の者による調剤行為事案の発生
- 在宅医療における自己注射等のために投与することができる注射薬にエダラボン製剤が追加

平成 27 年度 嚥下に問題のある患者への薬剤師の関わり 研修会報告

アオノ薬局 ふみはま店
小林七菜子

私が今回の講演会に参加しようと思った理由は介護施設の対応に追われ、今度入居される予定の方が胃瘻の患者さんと聞いていたからだ。胃瘻の方に限らず、高齢者の口腔ケアはいかに行われているのか勉強したかった。

講演会では、まず摂食・嚥下器官の解剖を学び、なぜ嚥下障害が起こるのかについて講義があった。嚥下に関わる器官も全て筋肉が関係しており、筋力の低下が起こりやすい高齢者にとって嚥下がいかに大変なことなのかがわかった。さらに高齢者では加齢により口腔乾燥を来しやすい。唾液が出にくくなると食事を呑み込みにくくなり、口腔内の洗浄・抗菌もできなくなってしまう。口腔乾燥の対処として、唾液腺マッサージや口腔保湿剤などの紹介もあり、今後は悩んでいる方の相談に乗りたい。食事の際嚥み合わせで問題になる義歯安定剤の選び方の紹介もあった。今までは、患者さんがいつも使っているからと商品を指定されることが多かったので、あまり相談に乗ることはなかったが、色々な種類のものがあるので、今後は使い心地などを聞いてみて、OTC 販売へ生かしたい。

摂食・嚥下がなぜ重要かという、その障害が起こることによる合併症として窒息、誤嚥性肺炎、脱水、低栄養と全て命に関わる重要な問題があるからだ。窒息死亡事故の半数が食品の誤嚥である。高齢者では食事の際、食事をしやすい姿勢をとる、食べやすい大きさにして小さめのスプーンを使用する、とろみ剤など調整をするなど、工夫をする必要がある。また誤嚥性肺炎の予防として、口腔ケアが重要である。講義では口腔ケアの手順・スポンジブラシの選択・義歯洗浄剤の選択・清掃方法などの紹介があった。スポンジブラシは小さいものが口の中の奥まで入る為、大きなブラシの代用が利き使い

私たちは普段何気なく食べるということを毎日繰り返しているが、高齢者にとって食べるということは少し大袈裟かもしれないが、命がけである。食べるということは生きることであり、死ぬまで美味しいごはんが食べられたらいいなあと思う。私たち薬剤師は、嚥下障害のサインに少しでも早く気づき、最期まで美味しいごはんが食べられるようサポートできるようにになりたい。